

第 25 回JICE研究開発助成成果報告会

東日本大震災の復興検証

－かわまち事業における施設整備の社会的インパクト評価に関する研究－

2025.6.6

東北大学大学院

増田聡



○公共空間とインフラ整備をめぐる潮流の変化

- ・ **住民参加型のまちづくりの深化**

まちづくりにおける住民・NPOの参加、官民連携の重要性が強調、PPP・PFIの制度整備が進展

- ・ **社会インフラの多面的機能の再評価**

都市再生・地域活性化の文脈で、インフラの「公共性」「公益性」「地域との関係性」などが着目され規制緩和や地域提案型の制度設計などが進行

- ・ **「かわまちづくり」事業の展開**

河川や水辺空間を活用し、地域資源の保存・再生・利活用を目指すものとして、全国的に拡大中。

- **被災地での「かわまちづくり」の実践**

宮城県では東日本大震災からの復興事業として活用



○東日本大震災と復興まちづくり

・ 東日本大震災における復興政策の特徴

「復興の基本方針」にもとづき、各自治体が主体となって、地域特性をふまえた復興計画を策定

・ 東日本大震災からの復興検証

国や県における復興に関するマクロレベルでの検証は進んでいるが、被災地住民の生活再建や地域振興に対する自治体レベルでの評価はほとんど進んでいない。

国からの多額の補助金の措置と、前例のないスケールで進められた復興事業で整備された大型拠点施設が、地域経済や産業、人々の交流にどのように貢献しているのか

『東日本大震災復興研究』
東北大学大学院経済学研究科
震災復興研究センター |



「かわまちづくり」の概要

○ 「かわまちづくり」の目的

「かわづくり」と「まちづくり」を一体的に考えることで、水辺の利活用を通して、観光客の増加や地域の交流機会の創出などを図り、地域の「顔」と「誇り」となる水辺空間の形成や、地域活性化や地域ブランドの向上に繋げることを期待。

→ 国土交通省では、事業推進のため、2009年に「かわまちづくり」支援制度を創設。

○ 全国での事業の広がり

- 2024年8月末時点の登録件数は全国で264箇所。
(うち11箇所がかわまち大賞に選定)
- R6年度は新たに22箇所が登録され、増加傾向にある。



先行研究

◆ 「かわまちづくり」計画の類型と整理

(角谷ら,2020) 各地域における「かわまちづくり計画」の施策の類型と特徴整理

◆ 制度的・運営的課題の抽出

(阿部ら,2018,2020,2021) 「かわまちづくり」推進に向けた自治体と河川管理者の意識調査

◆ 地域内協働の実態把握

(田中ら,2020) 「かわまちづくり」における地域内協働および合意形成プロセスと構造調査

◆ 水辺空間の活用検討

(平野, 2022) 都市再生・防災・景観整備等の観点から見た水辺空間活用の課題と可能性
「かわまちづくり」を活用した復興まちづくりに関する評価

分析の視点

震災復興の堤防整備とともに計画されてきた経緯に着目し、

「かわまちづくり」による復興まちづくりの新たな価値創出への効果検証を行う

研究の目的

東日本大震災後の復興事業で実現した宮城県の「かわまちづくり」の事例を取り上げ、施設整備の直接的な経済効果と間接的な地域活性化効果の両面から事業効果を明らかにする。あわせて、県内で新たに「かわまちづくり」に認定され、事業計画中の自治体を調査。

研究対象地

名称	かわまちオープンパーク (石巻市)	かわまちてらす閑上 (名取市)
施設の概要	国による旧北上川の堤防整備に合わせて、2016年度に東日本大震災復興事業として、被災市街地復興土地区画整理事業を開始。	国による名取川の堤防整備とともに被災市街地復興土地区画整理事業を開始。商業施設は民設民営、併設店舗はグループ補助金を使用。
総事業費	約31億円	約26.7億円
事業名	かわまち交流拠点整備事業	かわまちづくり事業
開設年	2017年～2023年全面開所	2019年開所



石巻市「かわまちオープンパーク」

施設概要・事業概要

- 国による旧北上川の堤防整備に合わせて、2016年度に東日本大震災復興事業として、被災市街地復興土地区画整理事業を開始。（総事業費約31億円）
- 2017年に「いしのまき元気いちば」を開設。以降、順次施設を整備し、2023年にかわまち交流広場が完成し全面オープンに至る。（施設規模：約1.53ヘクタール）
- 「いしのまき水辺の緑のpromenade計画」として2011年2月に策定していた施策を、復興計画のなかでかわまちづくりとして再度位置付け。



対象地の概要（石巻市「かわまちオープンパーク」）

○「かわまち交流センター(かわべい)」

観光案内と地域活動の場

○「いしのまき元気いちば」

地場産品の販売

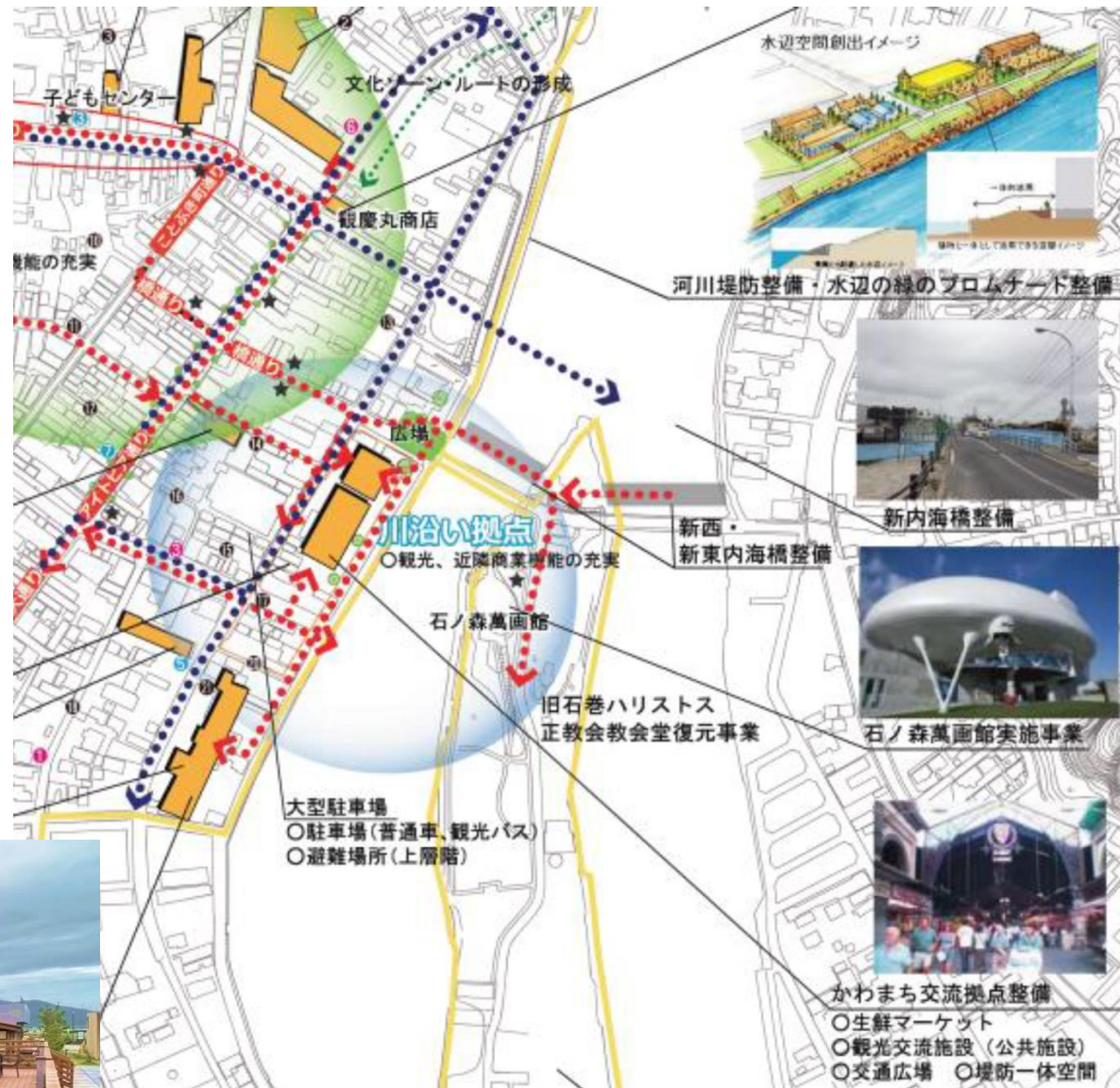
○「かわまち交流広場」

屋外広場

○「かわまち交通広場」

路線バス・タクシー乗り場

○「かわまち立体駐車場・かわまちバス駐車場」



出所:かわまち交流拠点整備事業基本計画

対象地の概要（名取市「かわまちテラス閑上」）

名取市 「かわまちテラス閑上」

施設概要・事業概要

- 2014年に「かわまちづくり計画」の登録申請を行い、2019年に中核となる商業施設がオープン。総事業費約26.7億円。
- 震災で甚大な被害を受けた閑上地区の商業の再興と、新たな観光・交流拠点の形成を目指して整備。
- 名取川の堤防整備は国により実施し、商業施設は民設民営による。併設店舗(4棟)はグループ補助金を使用。
- 対岸は仙台市となり、有名店や温浴施設で構成される大型集客施設があるほか、公園の整備計画や、兩岸を結ぶ渡し船の計画も進む。



対象地の概要（名取市「かわまちテラス閑上」）

○施設構成

地元の食材を使った飲食店や特産品などを扱う店舗
27店舗で構成

○アクティビティ

SUP、クルージング、笹かまぼこ手焼きなど

○新たな観光・交流の拠点

水上バスで閑上地区と仙台空港を結ぶルートや、
舟運による新たな観光ルートなどの社会実験を実施



対象地の概要（大郷町「かわまちづくり」事業）

○背景

2019年の台風19号による
豪雨災害からの復興まちづくり

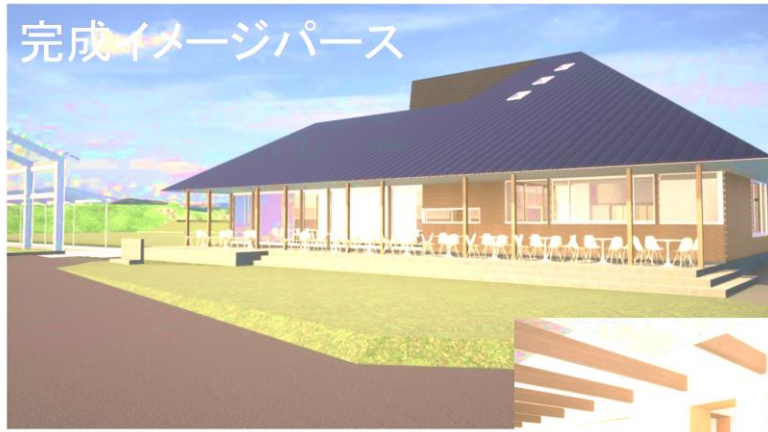
○計画プロセス

住民参加による計画づくり

○運営計画

官民連携の
まちづくりエージェント会社を設立

完成イメージパース



研究方法

○定量分析

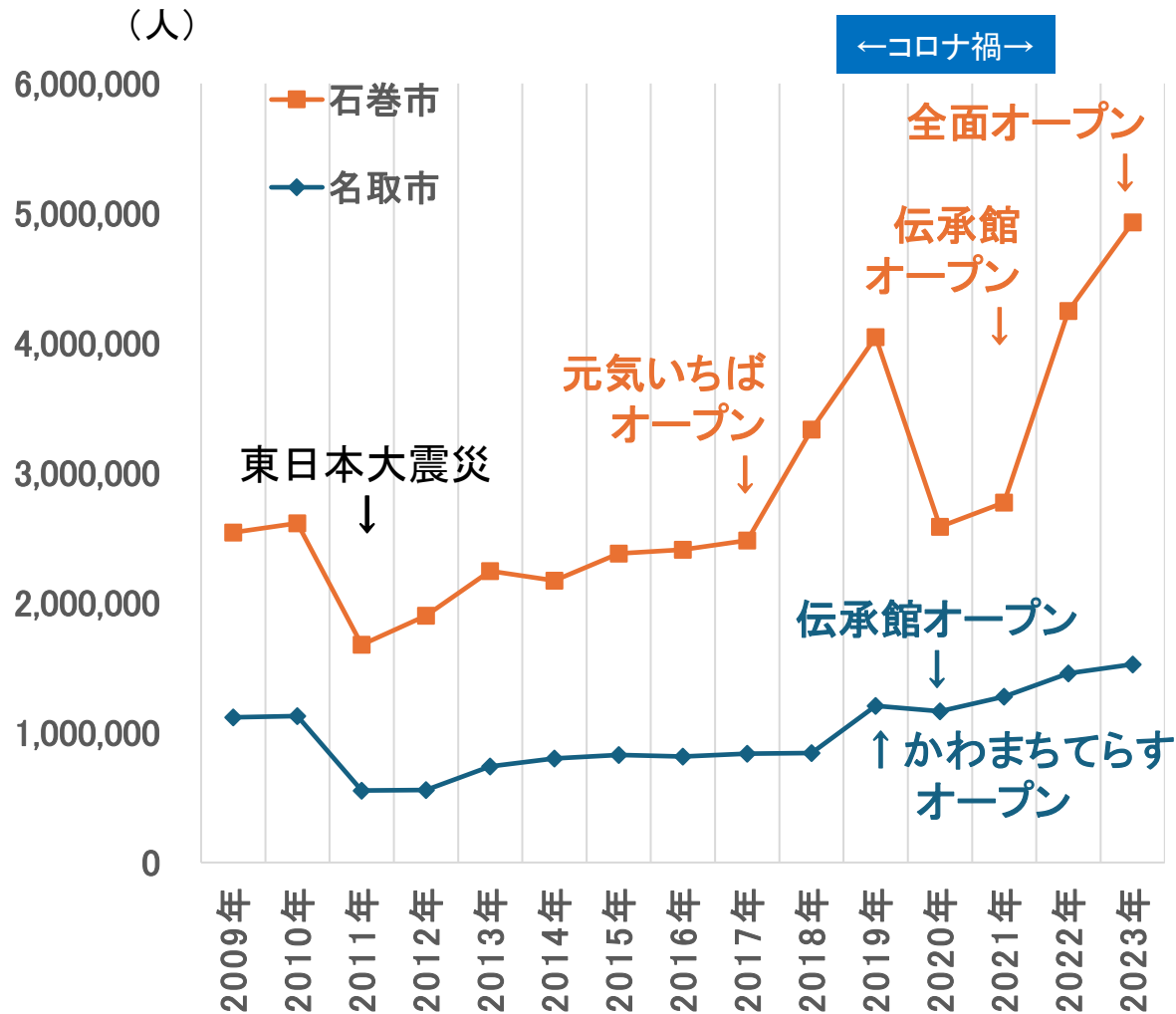
- KDDI Location Analyzer による人流データ分析
→ 来訪者数・属性・時間帯等
- 経済波及効果分析
→ 施設整備効果(投資需要)と誘客効果(消費需要)を算出
- 関連データ分析
→ 通行量調査・来訪者数・販売額・イベント開催数など

○定性分析

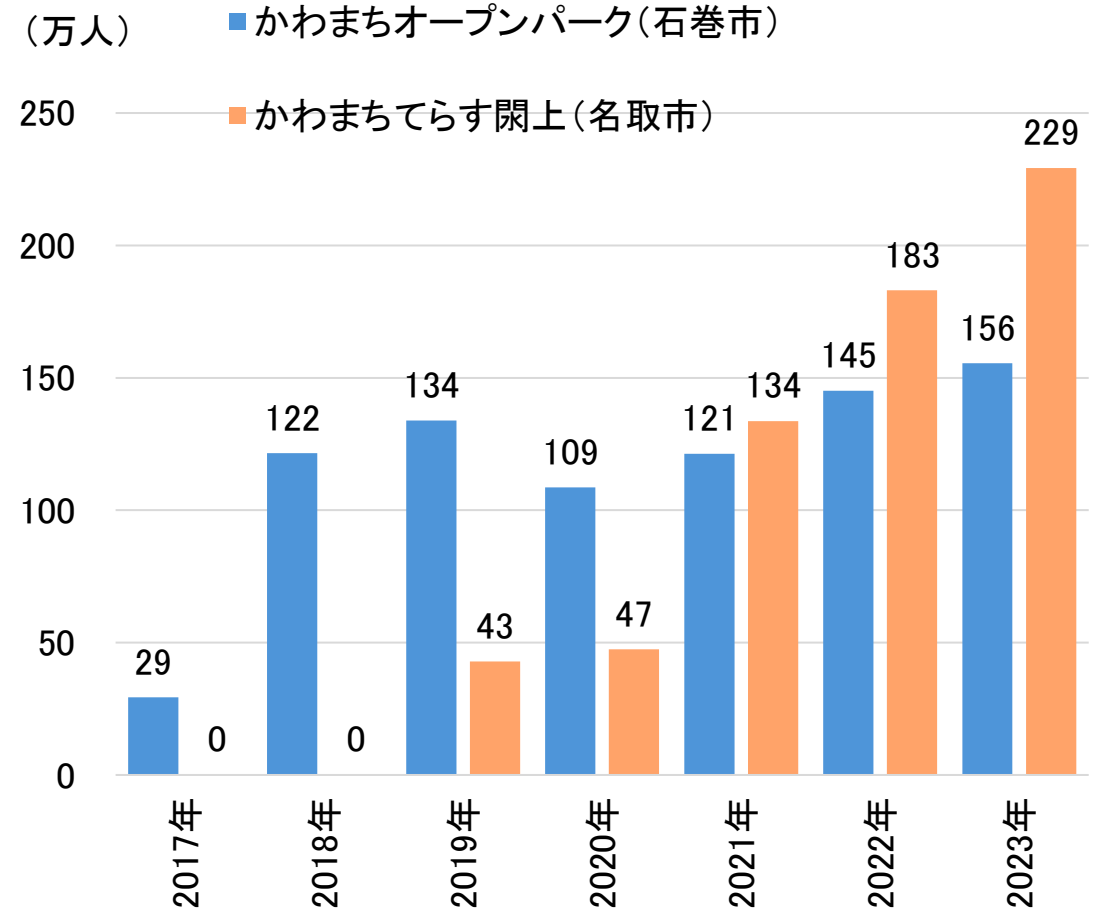
- 関係者へのヒアリング調査
→ 市役所・施設運営者・専門家等
- 施設整備の経緯、地域の関与、連携状況の把握
→ 運営方法、イベント開催・市民活動の状況など



分析結果（来訪者数の推移）



名取市および石巻市の観光客入込数の推移
出典：宮城県観光統計



各施設の来客数の推移
出典：石巻市、名取市資料

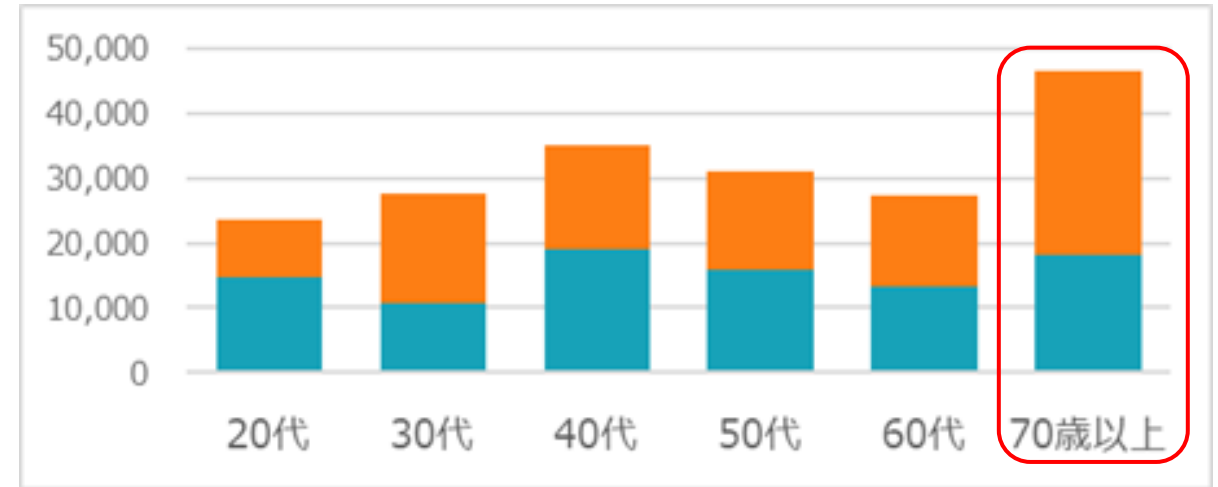
分析結果（人流データ分析）

○性別・年齢別内訳

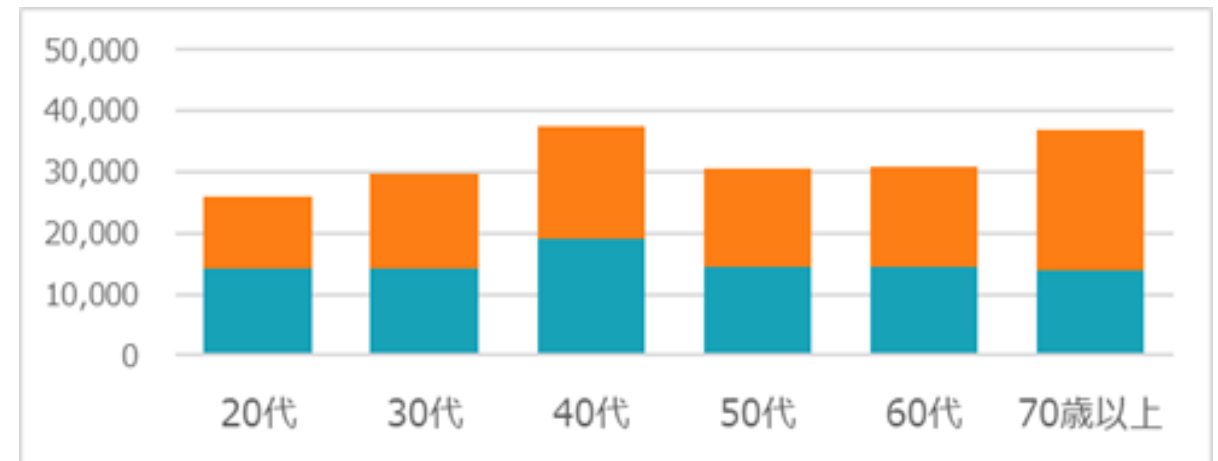
- 性別の内訳は**ほぼ同様の傾向**で、どちらも男性が47.5%前後、女性52.5%前後となっている。
- 年齢別内訳は、**石巻**は**70歳以上の割合**が大きく、20代の倍であり、閑上の割合を大きく上回る。
- 閑上**では**30-40代の割合が相対的に高く**、中でも40代の来訪者が最も多い。

■（青）…男性

■（オレンジ）…女性



石巻:かわまちオープンパーク

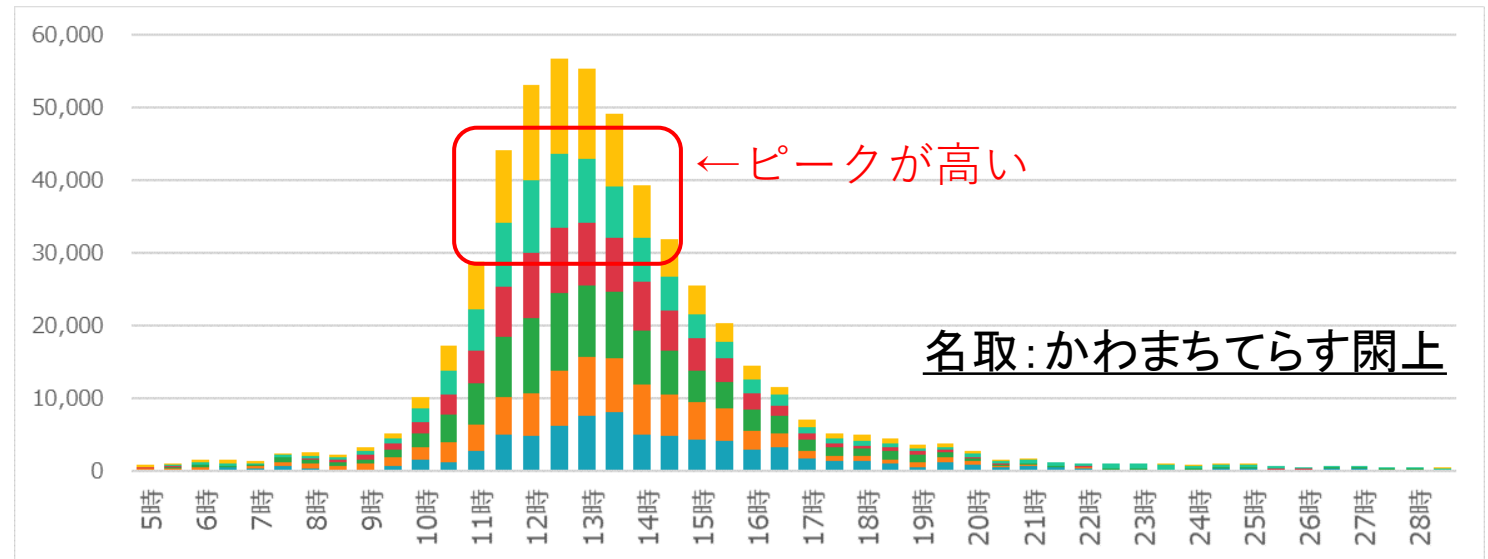
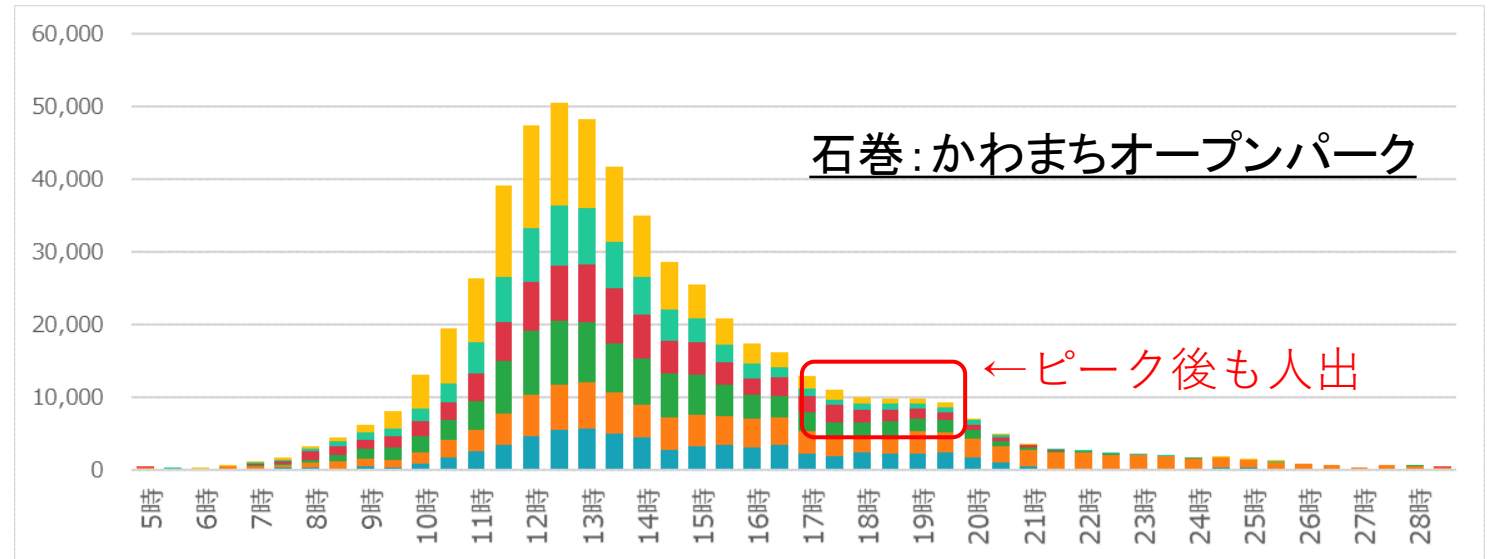


名取:かわまちてらす閑上

分析結果（人流データ分析）

○ピーク時間

- 両エリアとも12時半をピークとして昼前後の時間の来訪者が多い。
- 石巻については減少が緩やかで、夕方以降も10,000人前後の滞在者をしばらく維持しているのが特徴である。
- 閑上は、ピークであるお昼時間の来場者は多いが、ピークからの減少が早い。



分析結果（人流データ分析）

○居住地別内訳

- ・居住地は両施設とも県内割合が約73%
- ・石巻は閑上と比較し東北域外からの来訪者割合が多い

<石巻>

- ・東京都・神奈川県など、首都圏が上位に入る
- ・東北5県からの来訪者は10.3%、域外からは16.0%
- ・県内客のうち約54%が石巻市内、21.8%が仙台市

<閑上>

- ・福島県や山形県など近県からの来訪が上位を占める
- ・東北5県からの来訪者は15.1%、域外からは11.5%
- ・対岸の仙台市が49.1%と半数に上り、名取市内は15.7%

石巻：かわまちオープンパーク

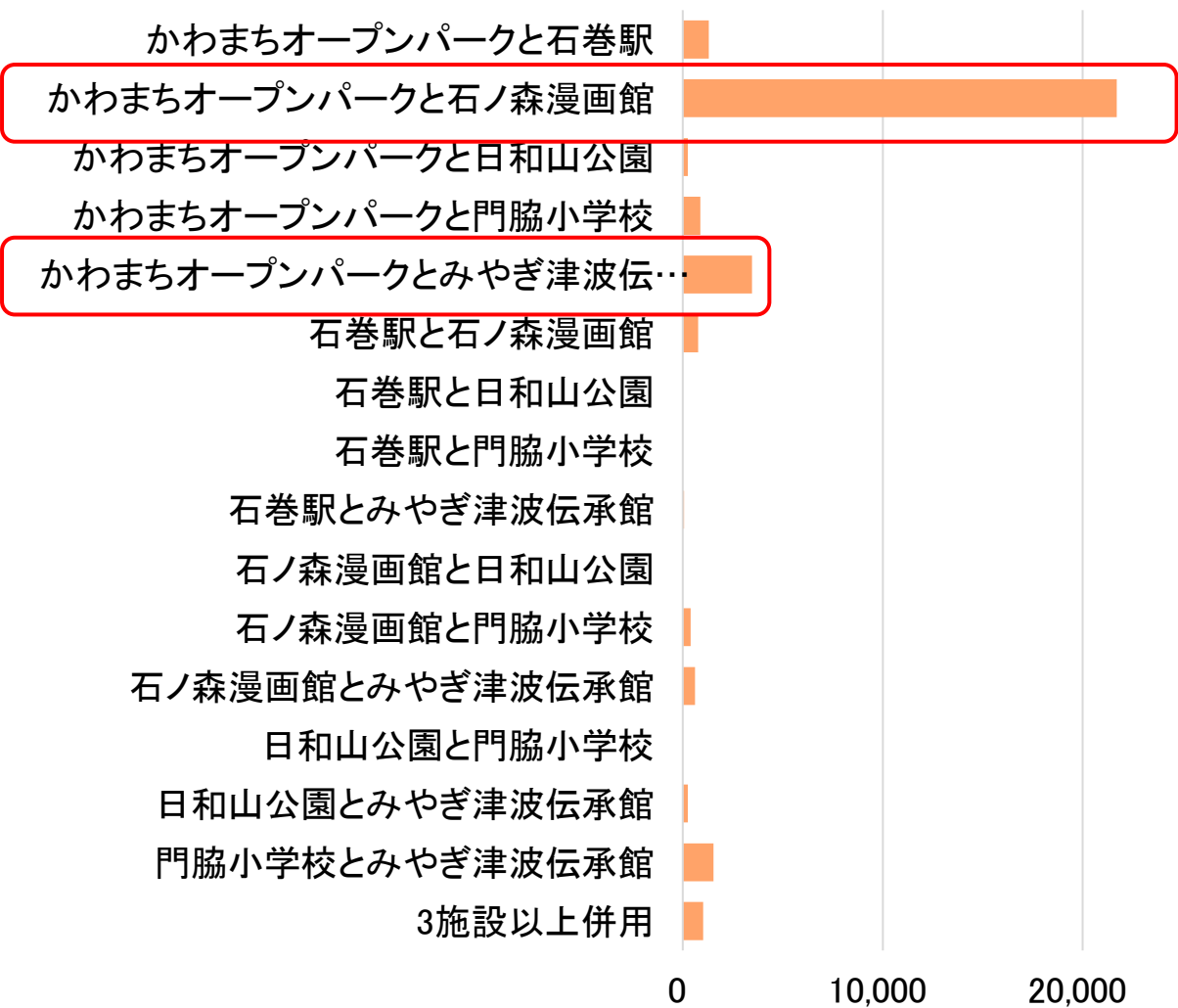
	人数	割合
宮城県	141,397	73.78%
東京都	7,763	4.05%
福島県	5,973	3.12%
岩手県	5,896	3.08%
神奈川県	5,495	2.87%

名取：かわまちてらす閑上

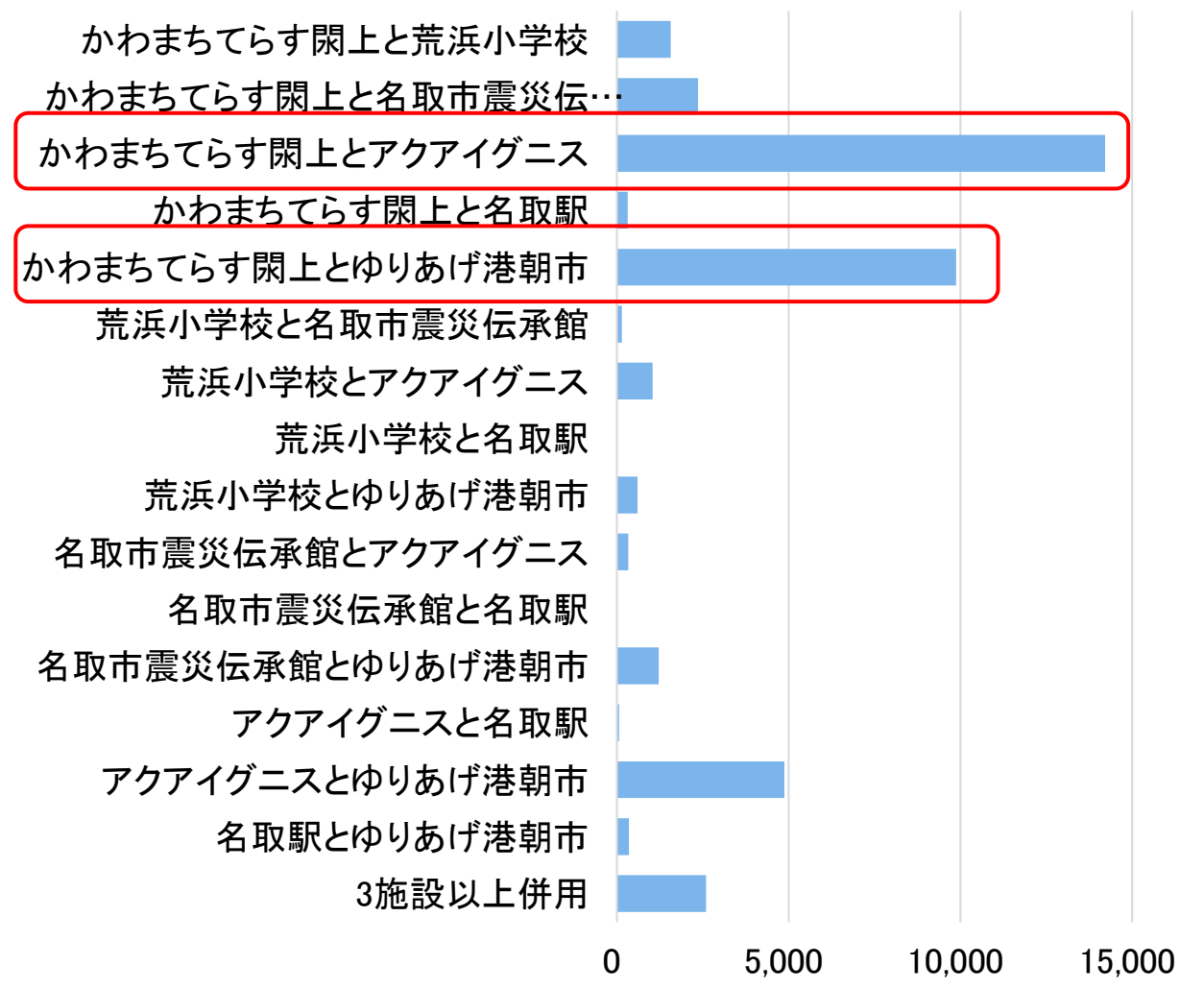
	人数	割合
宮城県	140,381	73.39%
福島県	12,773	6.68%
山形県	11,162	5.84%
東京都	4,407	2.30%
岩手県	2,501	1.31%

分析結果（人流データ分析）

○回遊性の分析（併用率）



かわまちオープンパーク



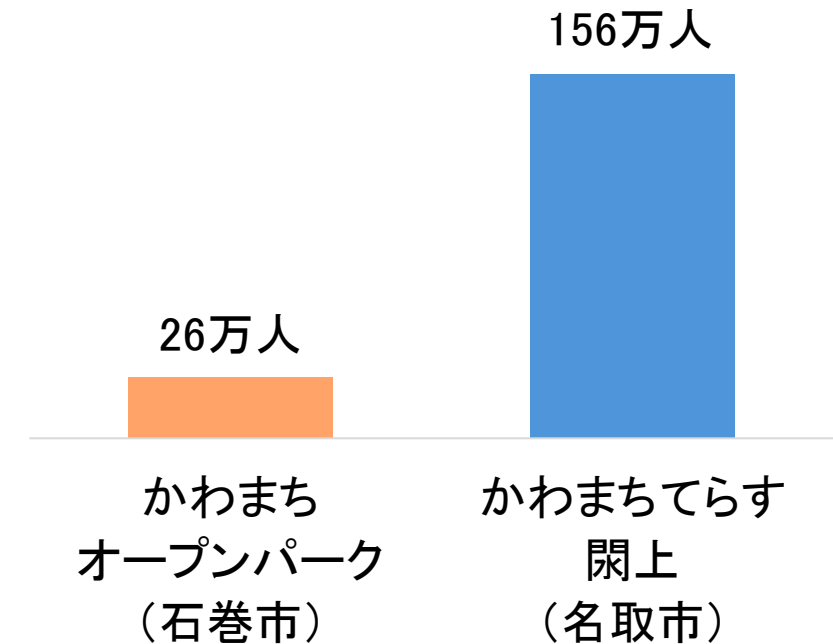
かわまちてらす閑上

分析結果（経済波及効果の推計）

○経済波及効果の推計

	かわまちオープンパーク （石巻市）	かわまちてらす閑上 （名取市）
	H29-R5年度	R1-R5年度
直接効果	851億円	612億円
第1次間接波及効果	265億円	190億円
第2次間接波及効果	157億円	108億円
経済波及効果 （①+②+③）	1,273億円	910億円
雇用者数	11,850人	8,398人

商圈人口（半径25km）の比較



- ・ 両施設ともの来客 1 万人あたりの経済波及効果は、年間約1.5億円
- ・ 「かわまちてらす閑上」はオープン以来毎年増加している
- ・ 「かわまちてらす閑上」の方が投資額に対する費用対効果が高い

分析結果（ヒアリング調査結果）

○運営状況と課題

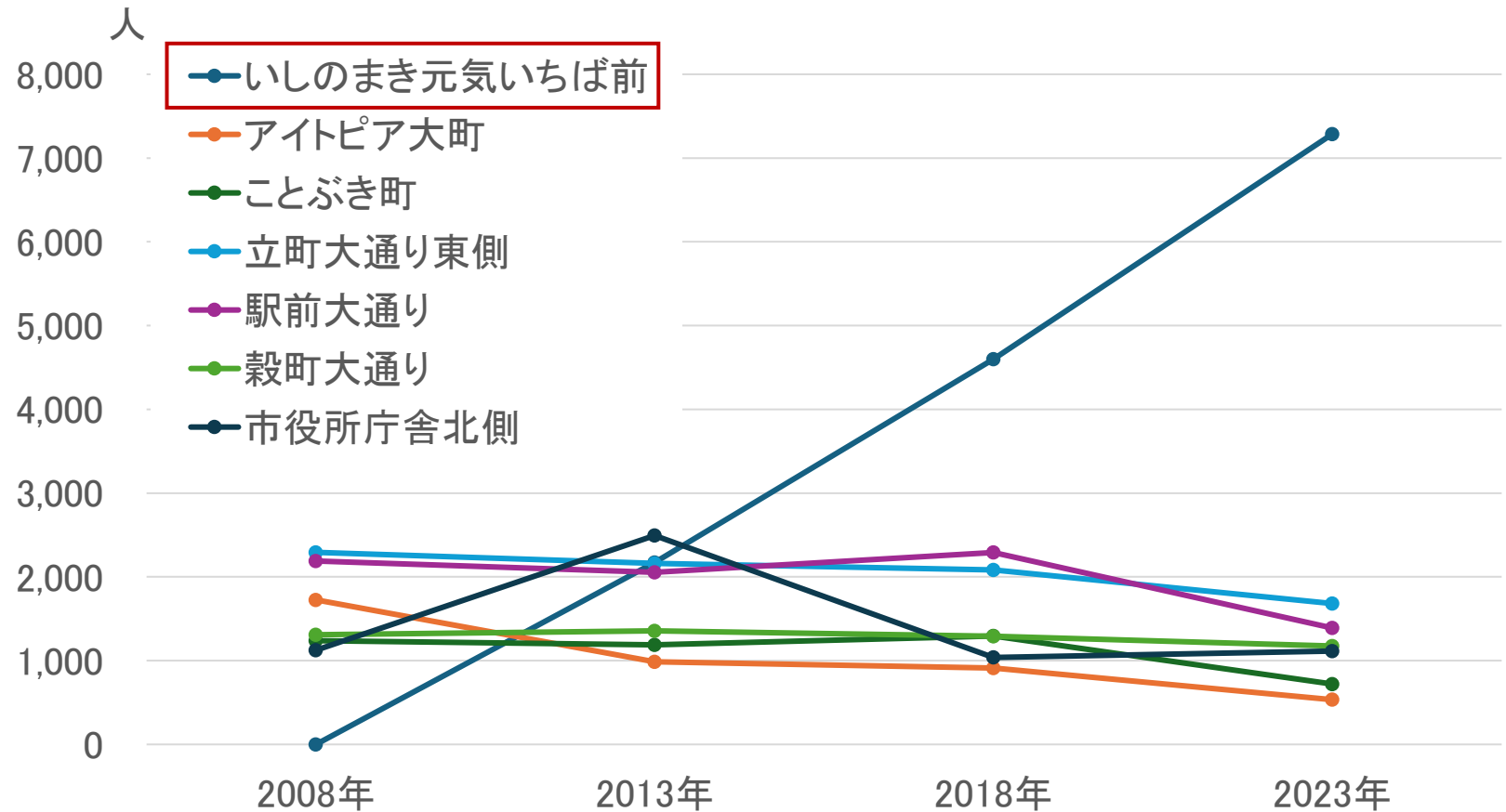
	かわまちオープンパーク（石巻市）	かわまちてらす閑上（名取市）
利用状況	- 来場者数は目標水準も、市内波及は限定的 - 新事業や新商品開発の動きは限定的 - 交流センターの活用拡大、市民発イベントの実施	- 平均来客数1,200人超と一定の入り込みはある。 - 仙台圏を中心に、近隣県からも来訪 - 買物・昼食での利用が中心
河川空間の活用	- 市民の原風景としての川を活かしたイベントを実施 - 管理主体の分散による一体的活用に課題	周遊船・SUP・バーベキュー・サイクリングなど多様なアクティビティを展開
回遊性の課題	- 隣接する駅前や中心商店街への波及効果は薄い - 漫画館以外との併用率が低く、震災関連施設等への誘導も弱い	- 震災遺構との併用率は低い - 公共交通の利便性に課題、自家用車利用中心。 - 対岸の仙台エリアの商業施設との連携効果に期待

両施設ともに一定の集客効果・河川空間を生かした地域資源活用の試行などが見られる一方、**地域全体への波及効果は限定的**。回遊性や冬季の集客を促す仕組みの整備が今後の課題。

石巻市内：通行量調査

- かわまちオープンパークについて、2017年のげんき市場開設以降、いしのまき元気いちば前の通行量は、2013年の2,172人から、2023年の7,286へと大きく伸びている。
- 一方で、周辺の既存商店街の通行量は年々減少傾向となっている。

※調査は、各年10月の平日・休日
それぞれ1日(9:00～18:00)をカウント



石巻：かわまちオープンパーク周辺の通行量の推移

歩行者・自転車通行量調査結果 出所：石巻市資料より作成

分析結果（交流施設利用実態調査）

石巻：かわまちオープンパーク 「かわまち交流センター」 (2018年9月オープン)

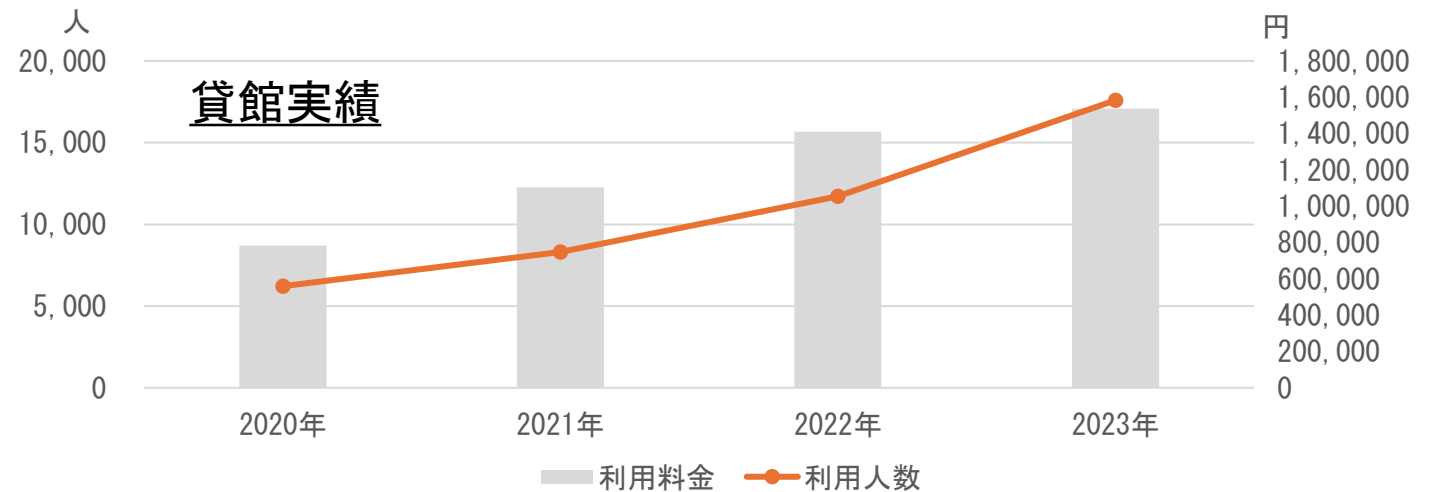
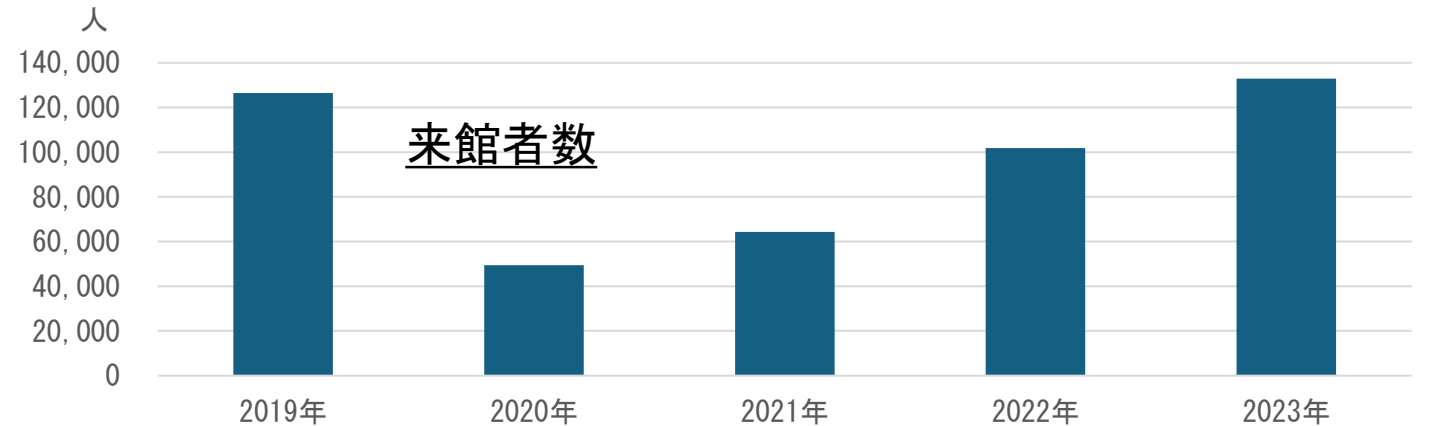
来館者数

- ・ コロナ禍に落ち込んだものの、その後堅調に回復。

※1階・2階の出入り口に設置した
来客カウンターによる集計(出入口通過者数)

貸館実績

- ・ イベントや市民活動等での
利用人数も年々増加傾向



「かわまち交流センター」の来館者数・貸館実績の推移

出所：石巻市資料より作成

分析結果のまとめ

「かわまちオープンパーク」 の特徴と課題

特徴

- ・ 夕方まで一定数の利用が継続している
- ・ イベント開催時には多くの来訪者がある
- ・ 交流拠点施設や鉄道駅からのアクセス性良好

課題

- ・ 商圈人口も含めた、人口減少の進行
- ・ 復興関連の観光客の減少リスク
- ・ 中心商店街との連携不足
- ・ 地域との接続性・回遊性の強化が必要



「かわまちてらす閑上」 の特徴と課題

特徴

- ・ 集客が昼食時に集中している
- ・ 仙台市や空港への近接性、商圈人口が多い
- ・ 対岸の集客施設との連携・水上交通などの展開

課題

- ・ 滞在時間が短く回遊性が低い
- ・ 飲食・物販以外のコンテンツ不足
- ・ イベント等を実施できるスペース不足
- ・ 冬季の来訪者減への対策が必要



▶ 本研究の知見から

- ・ 来訪者数や経済効果の一定の成果は確認された
- ・ しかし、地域全体への波及効果や地域活性化への効果は限定的
- ・ 「河川とまちの一体的活用」という理念の具現化が不十分

▶ 2事例における特筆点

- ・ 震災以前から、河川空間の活用を巡る議論が展開
- ・ 事業の企画・検討段階から、地域内の多様な団体・キーパーソンが参画
- ・ 復興事業による財源の確保、計画実現の後押し

▶ 今後の「かわまちづくり」の課題と展望

- ・ 立ち上げ段階からの関係構築とキーパーソンの育成
- ・ 地域資源の再評価と持続可能な資金計画
- ・ 整備後の定期的な評価と、持続的なマネジメント体制の構築



→ 理念の実現に向けた中長期的視点と仕組みの確立が重要

謝辞:

ヒアリング調査にご協力いただいた、石巻市建設部都市計画課 加藤係長・相原課長、石巻市産業部商工課 小須田係長・小暮主査、名取市生活経済部 草野係長、大郷町復興推進課 門脇課長・伊藤係長、株式会社かわまちてらす 関上 松野常務、株式会社街づくりまんぼう 街づくり事業部 荻谷部長、東北大学災害科学国際研究所 平野准教授 に感謝申し上げる。

参考文献:

- ・ 阿部充, 柏木才助, 岡田智幸, 酒井宏, 佐治史「「かわまちづくり」の効果と課題に関する基礎的研究」リバーフロント研究所報告,(27), 26-34,2016.
- ・ 阿部充, 柏木才助, 光橋尚司, 竹内秀二, 佐伯博人, 松尾峰樹「かわまちづくりのプロセスに関する考察-先例地域関係者インタビューを通じて」リバーフロント研究所報告, (29), 33-40,2018.
- ・ 阿部充, 柏木才助, 光橋尚司, 阿部徹, 竹内秀二, 松尾峰樹, 佐伯博人「地域の活動主体に着目したかわまちづくりの推進に関する研究」リバーフロント研究所報告, (30),31-38,2019.
- ・ 阿部充, 阿部徹, 北澤史, 竹内秀二, 二瓶智「全国アンケートからみた「かわまちづくり」の現状と課題」リバーフロント研究所報告,(31),37-45,2020.
- ・ 阿部充, 阿部徹, 北澤史, 竹内秀二, 二瓶智, 佐治史「かわまちづくりにおける河川管理者の課題意識の構造分析試論」リバーフロント研究所報告,(32),29-37,2021.
- ・ 角谷瑠偉, 丹羽由佳理, 横田樹広「河川とまちの融合を目指した「かわまちづくり」の施策分析」日本建築学会技術報告集,26(64),1161-1166,2020.
- ・ 清水晃「「かわまち大賞」の評価ポイント」リバーフロント研究所報告,(99),22-25,2024.
- ・ 田中尚人, 光永和可, 園田晃大「菊池市のかわまちづくりにおける参加・協働に関する研究」土木学会論文集D3(土木計画学),75(6),I_249-I_257,2020.
- ・ 平野勝也「復興まちづくりの苦悩と復興「かわまちづくり」の必然」リバーフロント研究所報告,(95),6-9,2022.
- ・ 三浦信二, 森永良丙「かわまちづくり推進における活動組織と計画プロセスに関する研究-かわまちづくり支援制度の推進地域の組織活動を対象として-」日本建築学会技術報告集,28(70),1459-1464,2022.
- ・ 松尾峰樹, 柏木才助, 光橋尚司, 阿部充, 佐治史「旭川岡山中心市街地のかわまちづくりについて」リバーフロント研究所報告, (28), 45-54,2017.
- ・ 一般社団法人ISHINOMAKI2.0,<https://ishinomaki2.com/about.html> (2024.05.01アクセス)
- ・ 大郷町WEBサイト,<https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/> (2024.09.04アクセス)
- ・ 大郷町「令和2年度復興再生ビジョン(令和2年6月)」,<https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/uploaded/attachment/4045.pdf> (2024.09.04アクセス)
- ・ 大郷町復興推進課,<https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/soshiki/fukkousuishin/> (2024.12.25アクセス)
- ・ 株式会社かわまちてらす 関上,<https://kawamachi-terasu.jp/> (2024.05.01アクセス)
- ・ 株式会社街づくりまんぼう「石巻かわまちオープンパーク」,<https://man-bow.net/?p=436> (2024.05.01アクセス)
- ・ KDDI株式会社「KDDI Location Analyzer」,<https://klocationanalyzer.com/> (2024.05.01アクセス)
- ・ 国土交通省(2023)「令和4年度『かわまち大賞』: 石巻地区かわまちづくり」,<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001578944.pdf> (2024.05.01アクセス)
- ・ 国土交通省(2021)「令和3年度『かわまち大賞』: 関上地区かわまちづくり」,<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001445816.pdf> (2024.05.01アクセス)
- ・ 国土交通省「「かわまちづくり」支援制度実施要綱」,<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001322104.pdf> (2024.09.05アクセス)
- ・ 国土交通省北上川下流河川事務所(2022)『石巻かわまちづくりデザインノート』,https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/_upload/doc/04_publication/pamphlet/kawamachi_designnote.pdf (2024.05.01アクセス)
- ・ 国土交通省水管理・国土保全局「かわまちづくりWEBサイト」,<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/> (2024.09.05アクセス)
- ・ 土木学会デザイン賞(2024)「最優秀賞: 石巻市街地における旧北上川の復興かわまちづくり」,<https://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/2136> (2024.05.01アクセス)
- ・ 土木学会デザイン賞(2025)「奨励賞: 名取市関上地区における名取川・復興かわまちづくり」,<https://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/2610> (2024.05.01アクセス)
- ・ 中粕川地区復興まちづくり事業,<https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/soshiki/fukkousuishin/nakakasukawachiku-fukkoumachidukuri.html> (2024.09.04アクセス)
- ・ 宮城県観光統計,<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankou/statistical.html> (2024.08.27アクセス)
- ・ ゆりあげ港朝市協同組合、<https://www.yuriageasaichi.jp/> (2024.05.01アクセス)